

● 食と農がテーマの収穫祭



11月21日、JAいるま野狭山共販センター(堀兼)で「狭山市農業祭」が開催されました。品評会にはたくさんの農産物が出品され、多くの方が立ち止まって、作物の出来栄を確認していました。

● ライオンズファームで農業体験(堀兼地区)

11月13日、埼玉西武ライオンズ主催の農業体験で、里芋の収穫が行われました。狭山市4Hクラブ(農業後継者組織)の協力のもと、親子のふれあいや食物への理解を深めました。



わがまちの消防団

● 消防協力団体 vol.9

- 狭山市消防団第5分団 -

私たち第5分団は47名の団員が「地元を守る」をモットーに、管轄地域の奥富・新狭山地区で活動しています。

火災や風水害などの発生時には、現場にいち早く駆けつけ、被害の拡大防止に努めるとともに、夜間の警戒や火災予防の普及啓発も行っています。また、納涼祭や奥富地区体育大会などの行事にも積極的に参加し、より地域に密着した消防団をめざしています。

「地域の安全に役に立つことができた」という気持ちは、何事にも代えることはできないものであり、団員同士はもとより、地域に住む大勢の方との交流もでき、仕事とは違う深い結びつきが生まれています。

問合せ消防総務課へ 2953 7112



地域のために活躍してみようという方を
広く募集しています

さやまの教育

元気な



さやまっ子



● 学校安全ボランティア講習会

11月12日、教育センターで学校安全ボランティア講習会が開催されました。これは、近年、学校や通学路で事件や事故が多発していること



から、子ども達の安全・安心を確保するために、「埼玉県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」の一環として開催されたものです。

当日は、県から委嘱されたスクールガード・リーダーと狭山警察署生活安全課長を招き、具体的事例の紹介をもとに、スクールガードの大切さを学び、「地域で育てる子どもたち」と題した講話をいただきました。

今後も、学校、家庭、地域が連携して、子ども達の安全・安心を確保できるよう、ご協力をお願いします。

.....

● 毎月23日は「家庭読書の日」

今年は、「国民読書年」です。その宣言の「読書のまちづくりの広がりや、さまざまな読書に関する市民活動の活性化など、読書への国民の意識を高めるため政官民が協力し、国をあげてあらゆる努力を重ねる」に基づき、市では今年度から毎月23日を「家庭読書の日」と位置づけ、各小・中学校で取り組んでいます。なお、「家庭読書の日」の趣旨は、次のとおりです。

家庭での親子のふれあい

読書量の増加

すばらしい本との出会い

教育委員会、図書館、各小・中学校、学校図書館指導員が連携し、家庭で親子が読める「子どものときに読みたい本100冊」を選定しました。詳しくは、ホームページをご覧ください。



きっと出会える本の1冊

● 音楽を通じて、家族・学校・地域の絆

11月7日、入間小学校で「入替ふれあいコンサートwith8校フェスタ」が行われました。来年3月で137年の歴史に幕を閉じる同校に多くの方が訪れ、音楽と懐かしい思い出に浸りました。



human まち Town 写真館 Photo studio

あなたが写っていませんか？広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

● 「火の用心！」大きな声でできました



11月12日、入間川幼稚園の園児が、幼年消防クラブ防火パレードを行いました。保護者や地域の皆さんが見守る中、拍子木を叩きながら元気いっぱい街中を練り歩きました。

● 茶道の真髄を披露 さやま大茶会を開催

11月7日、狭山稲荷山公園で、恒例の「さやま大茶会」が開催されました。会場を訪れた皆さんは、秋晴れの空の下、狭山の抹茶「明松」と玉露「伊利麻路」に友好交流都市・新潟県津南町の名水「竜ヶ窪の水」を使用した各流派のお点前で、深まり行く狭山の秋を堪能しました。



● 活気あふれるシニア芸能発表大会

11月12日、市民会館で「シニア芸能発表大会」が行われました。21団体の皆さんが、歌や踊りなどを披露し、ステージと客席が一体となって、楽しい雰囲気になりました。



ウクレレの音色に心がいやされます

Hello ハロー 仲間たち Vol.352

水野ウクレレアンサンブル藍

南国の楽園ハワイで生まれた楽器「ウクレレ」。この楽器の音色には、何か懐かしくほっとした気持ちにさせてくれるものがあります。

私たちは、3年ほど前に水野公民館で開催されたウクレレ講習会をきっかけにサークルを結成しました。譜面も読めない初心者が集まっていたスタートでしたが、先生の丁寧な指導のおかげで、家族的な雰囲気の中、のんびりと続けられています。これまで、皆さんがよく知っていて、気軽に楽しめる曲を中心に、市民文化祭や公民館の音楽祭への出演のほか、老人ホームでボランティア演奏を行いました。そして現在は、ウクレレを弾きながらハワイの言語で歌えるようになりたい、合奏に挑戦したいなど、いくつかの夢を持って練習に取り組んでいるところです。

ウクレレは、習ってみると大変奥が深い楽器であることが分かり、それだけに好きな曲を弾けたときの感動は格別です。最初は、誰でも初心者と一緒にウクレレを学んで、人生を謳歌しましょう。

問合せ高松さんへ

2959 7965